GTX KR23

高いコスト・パフォーマンスのブランド・デビュー

価格＝42,000円

アメリカにあるカーマン社というのをご存知だろうか？　オペーションを開発した会社と言えば「あぁ、あの」と気づく人も多いだろう。他にも多数の商品、ブランドを扱っている一大企業である。そのカーマン社から、ハイ・コストパフォーマンスを追求したブランド"GTX"がデビューした。

ここで紹介するKR23はスクエア・エッジのボディ、コンコルド・ヘッドのいわゆるソロイスト・タイプのギターである。フラットな指板、薄めに仕上げられたネック、ハイ・ポジションでの演奏性を上げるボディはカットなど、今のニーズに忠実な仕様で、価格を考えれば驚くべき内容といえる。また、ちょっと変わっているのがピックアップ・セレクターで、3つのピックアップそれぞれに独立したON/OFFミニ・スイッチが付いている。しかも単純にON/OFFなのではなく、相互の位相にも影響を与えるので、かなり幅広いバリエーションのトーン・キャラクターが得られる。今どんな状態なのかは一目でわかるので、初心者にもとっつきやすい機能でもあるだろう。

トレモロ・ユニットのファイン・チューナーは、エンド部のツマミを回すとローラー付きのブロックが前後に動くタイプ。アーム・バーは後ろ（エンド・ピン方向）に持っていった時にちょうどネジがしまりきってホールドされるので、瞬時にクリケット奏法の体勢に入れる。

ピックアップは、カヴァードされたパッシヴ・タイプで、ディストーションがのりやすく、サステインもなめらかである。価格からはどうしても初心者用と考えられがちだが、それだけではない魅力も充分持ったモデルだ。カラーリングはブラック、ホワイト、メタリック・レッド、メタリック・ファイア・グレイの4色。

今回発売されたラインナップには他にもストラト・シェイプやセミアコ、PJベースなど各種あるのだが、中にはKR23の兄弟モデルともいえるオリジナル・ヘッド・ストック、マウンテン・インレイのAR23Tシリーズもあり、こちらにはリバース・ヘッドのモデルも登場する。高いコスト・パフォーマンスが話題を呼びそうなブランドのデビューだ。



兄弟モデルAR23Tにはオリジナル・ヘッド・ストック、マウンテン・インレイが採用される。